

06 知識・技能を身に付ける

取組事例
21

マイスプーンを作ろう
～ 森林学習を通して ～

伊賀市立大山田小学校 6年生



森のせんせいの話

実施時期	令和5年12月
実施場所	ランチルーム
時間	2時限（45分×2）
対象・人数	小学6年生 34人
講師	森のせんせい1人（芝野利夫氏）
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した市事業「大山田小学校伊賀の森っこ推進事業」

めざす姿	06知識・技能を身に付ける （01遊び・楽しむ、02親しむ、03興味・関心を持つ、08地域の課題に目を向ける）
ねらい	自然と人間がともに生きていくことの大切さについて考える
内容	・森林のはたらきについて学ぶ ・生きている樹木を木材として利用することについて考える ・木のスプーン作りを楽しみ、木の香りや肌触りを感じる
学習指導要領との関連	森林を保全する仕事（林業）（小学5年生社会科） 面白さ・不思議さ（小学1～2年生生活）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、飲料水と森林保全（小学4年生社会科）、水の循環（小学4年生理科）、森林資源のはたらき・森林資源と木材生産・森林と人々の暮らし（小学5年生社会科）、水の作用（土砂運搬）（小学5年生理科）、創作活動（小学4～6年生図画工作）、地域の自然環境と人々の暮らし（小学生総合的な学習の時間）



森のせんせいの話を聞いている様子



スプーン作りを楽しんでいる様子



子どもの反応	・ クイズ形式での話をしてくれることも多かったので、積極的に発言する児童も何人か見られました。（座学） ・ 児童たちはとても楽しそうに体験を行っていました。自分が満足するまでつるつるに磨きたい児童も多く、休憩時間を使って仕上げていました。（体験）
学校のコメント	・ マイスプーン作りということで、子どもたちはとてもはりきって活動に取り組むことができていたと思います。また、森林の働きはとても大切なものだとう理解することができました。